

日本バウハウス協会
講演 (オンライン)
2024年8月20日 (火)
18:30-20:00

新見 隆

可能性としての、 バウハウスの広がり ーシュレンマー、イサム・ノグチ、 グローバルなモダニズムの展開



シュタイナー的な

二十世紀最大の、総合美術学校であった、バウハウスですが、ナチスによって閉鎖されました。さまざまな魅力が現在も残っていますが、中でも最も二十一世紀に可能性を残したと思われる、オスカー・シュレンマーのダンス実験、さらにグローバルな可能性としての、イサム・ノグチの世界文化教育の場としての「庭」の体験との関係や、神秘思想家、ルドルフ・シュタイナーの人智学との関連で、考察します。

講師 新見 隆 (にいみ りゅう)

キュレーター。武蔵野美術大学造形学部教養文化・学芸員課程教授。同美術館・図書館館長。元大分県立美術館館長。パナソニック汐留美術館における「ウィーン工房 1903-1932 モダニズムの装飾的精神」展 (2011) の企画・監修によって、西洋美術振興財団学術賞を受賞。

主著に、『イサム・ノグチ 庭の芸術への旅』(武蔵野美術大学出版局 2018)、『もっと知りたいイサム・ノグチ 生涯と作品』(東京美術 2021)、『時を超える美術ーグローバル・アートの旅』(光文社新書 2022)、『青春 20 世紀美術講座ー激動の世界史が生んだ冒険をめぐる 15 のレッスン』(東京美術 2022) など。

主催 日本バウハウス協会 (お問い合わせ)
<http://nipponbauhaus.jp>
講演は無料 (Zoom)

講演申し込みは 2 次元コードまたは下記 URL
https://zoom.us/webinar/register/WN_RPIISCJYTKCbpifCaIVTcw

